

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名【新】eスポーツ介護予防促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 高齢福祉課 介護保険者係 電話番号：058-272-1111(内3467)

E-mail：c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,502千円 (前年度予算額：0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	4,502	4,502	0	0	0	0	0	0	0
決定額	4,502	4,502	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

高齢者が住み慣れた地域で、介護を受けることなく暮らし続けられるよう、市町村では介護予防教室や通いの場を開催・支援している。

具体的な内容としては、体操教室等が多く、それ以外のメニューが少ない。また、参加者は女性が多く、男性の参加者が少ない状況である。

そこで、eスポーツといわれるコンピューターゲームを使った介護予防教室等を開催することで、より幅広い高齢者に関心を持ってもらい、参加につなげる。

(2) 事業内容

○ eスポーツを活用した介護予防教室等

県内市町村の既存の介護予防教室や通いの場において、eスポーツを導入した体験教室を開催する。

実施前後のアンケート調査や県リハビリテーション協議会のリハ専門職と連携し、その効果を測る。

規模としては、県内3市町村を選定し、1市町村あたり4回開催する。

実施にあたっては、一般社団法人岐阜県eスポーツ連合と連携して開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方
国10/10 保険者機能強化推進交付金

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	216	県リハビリテーション協議会専門職 報償費
旅費	86	業務旅費及び費用弁償
委託料	4,200	
合計	4,502	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「認知症施策推進大綱」（令和元年6月閣議決定）では、「認知症予防に資する可能性のある活動の推進」として、地域において高齢者が身近に通える場等（通いの場）を拡充することが求められている。

(2) 国・他県の状況

都道府県では、福島県(R4～)、富山県(R2～)が実施している。

(3) 後年度の財政負担

保険者機能強化推進交付金(10/10)の対象事業となるため、県の後年度財政負担は生じない。

(4) 事業主体及びその妥当性

一般社団法人岐阜県eスポーツ連合は、一般社団法人日本eスポーツ連合の岐阜県支部的な団体であり、eスポーツのノウハウを十二分に有している。また、先行実施している富山県、福島県においても、各県のeスポーツ連合と連携して実施されており、事業主体として妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 高齢者が介護予防のための通いの場の参加率を向上する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30末)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
①高齢者の通いの場の参加率	5.40%	3.9%※	7.00%	7.40%	7.40%	53%

※R2年度末実績

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	・取組内容と成果を記載してください。 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	高齢化が進み、要介護認定者も増加している状況で、介護予防事業の必要性は非常に高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	他県の事例からも同事業の効果は期待通り得られると考える。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	事業実施にあたっては、他県の事例も参考にし、効率的な実施に努める。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 介護予防教室や通いの場は、体操等のプログラムが主であることや、参加者が女性が多く男性が少ない傾向にある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新規事業として実施する。県内3市町村を選定し、1市町村あたり4回開催する予定。eスポーツにより、幅広い高齢者の参加者につなげ、介護予防に資する取組みとする。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】